

在木浦領事館

外務省

3-1785

0090

17/9/1

官報掲載
通商彙纂

在 外 公 館

三十二年六月廿二日受 主官 通商局

本館第九七號

七九一六號

一全羅南道七山灘附近漁業報告 一部
 在當地漁業協會會長之呈請中者立於
 特之價者とししめん之より同方之呈請者
 送呈代亦矣
 在木浦
 官報局長久水三郎
 外務大臣官署書本局製版



三十二年六月廿二日受

3-1785

0091

水産

四〇

中 韓國全羅南道七山灘附近
漁業情况

三十二年六月十一日付、水産部函達事報告

一 起原、沿革、漁場、漁況、漁獲高

本海に於ては我々樞漢業の起原は漢然トシテ其後漢業の知能ハト云々凡五十年前に在留本邦人大草某カ同志数名ト銅傳網ヲ廣島縣下ヨリ雇入レ之ヲ忠清道ヨリ島近海ニ於テ使用セシメ始メテ如ク當時幸ニ非常大漢業トシテ網五万尾ヲ捕獲セシメテ其後漢業中偏然ニ鱒大群ニ由會ニ該漢業ヲ以テ銅ト共ニ并獲セシ如キ意外ノ豐漢業ヲ得タルヨリ忽然吾上ニ好漢場名聲ヲ榮揚スルニ至リ尔来年ヲ追フテは樞漢船數ヲ増加シ漢場區域ハ益々擴張セラレ現時ニテハ竹島ヲ中心トシテ北ハ安眠島ヨリ南智島附近ニ至リ東ハ大漢沿岸ヨリ西

九十三

遠ク全北音島ニ至ル其間七山嶺島、陽音、閑也、煙島、諸島嶼ヲ包括シ朝鮮西海ノ半部ヲ占ム好長ナル網代多ク海深約五尋ヨリ十尋ニ及ブ海底ハ泥質ニシテ沿岸ニ帯ノ浅瀬ナルヨリ干潮ニ數里ノ干涸ヲ現出ス干満ノ差大潮時ニ於テニテ尺ニ及ブ竹島ヲ觀測ス
重要ナル魚類ハ銅鱒、石首魚、蝦、帶魚等トシ皆産卵ノ為ニ群集スルモノニシテ夏季即チ大抵同時ニシテ各種漁期略一定シ毎年四月ヨリ六月ニ至ル
樞漢船ハ本邦支那朝鮮ノ三國ニシテ盛期ニテハ其船數殆ソト千五百艘ニ達ス而我々樞漢船數ハ明治ニ十九年ニテ約五十艘三十二年ニ百艘三十二年ニ百艘本年ハ前年豐漢ノ結果頗ル増加シテ六百艘ト多ク遠シ乘組人員二千五百名ヨリ韓人、漢船モ各道遠近

九十九

より集合、大買船等ヲ合計スルニ其數約五百艘ニ及ス、
其他支那漢船數十艘アリ、全体ノ漢獲高ハ未ク詳知
スルヲ得、トモ其金額ハ大約三千万円ヲ下ラズ、ハ我漢獲
高ハ本年ニテ九八万円で之而シ、其僅ニ二旬ノ短漢期
ニシテ且、不漢ナリトモラ、均ラズ向ハ斯巨額ニ達セリ、且セ
ハ本海漢業ノ前途頗ル有望ニシテ、將來蘇山浦
(本年五月開港)ノ發達、鐵道ノ開通(京釜鐵道)
錦江ノ上流ニテハ、江景ヲ通(過)ス等ニ依リ、運輸取
路ノ極大整備ナリ、時ニ至リ、其収利今日ニ倍從スル
モノアラシカク、我出稼漢業ノ情況ヲ報告シ、漸次韓
人漢業ノ情態ニ及フヘシ

集、邊

(二) 朝鮮漢業ノ情況

朝鮮漢期、毎年陰曆八月八夜(本年五月二日)相當
ニ始ルニシテ、出稼漢業者、其極ラ速ニセリ、注意シ
大抵四月上旬各身、郷里ヲ去リ、下旬本海ニ到着シ
直ニ漢業ニ從事シ、五月下旬ニ漸次六地ヲ去リ、雁
島(全羅道)南海、歙智(慶尚道)諸島附近ニ於テ漢
業シ、ソノ帰國スルモノニシテ、其間約六七日間ヲ費ス、本海
ニ於テ漢業スルニ僅ニ三十日内外ニ過ラズ、残日途中ノ漢業
トシテ復航路ニ消費スルモノトス、漢具ハ即チ備シテ一船ニ
三十餘位ヲ用意シ、大潮ニ際シテハ二十餘少潮ニテ十餘
位ヲ使用スルヲ常トス、一船ノ乗組ハ四名ナリ、漢場ハ砂島
附近ニテ、初ノ漸次北道ニテハ元山島ヲ、全北音島附近
及フ本年出漢ノ船數ハ僅ニ五十艘許ニシテ、從來本海

在外公館

の中

伊豆

出賃者、鯛俵大部ヲ占、鰯網、数僅ナリ、昨
前者ノ博、漢ナリ、ニ反シ、後者、自、漢ナリ、為、其、比
例、ヲ、変、シ、テ、本、年、ノ、鰯、網、ノ、船、数、五、百、以、上、ナ、リ、反、シ、其、十
分、一、ノ、船、数、ヲ、出、セ、シ、如、キ、不、振、ノ、有、様、ナ、リ、レ、カ、其、結、果、ハ、却、テ
比、較、上、好、位、置、ヲ、占、タ、リ、而、シ、テ、其、縣、別、ハ、香、川、最、多、ク、
廣、嶋、愛、媛、山、岡、山、島、根、ノ、諸、縣、之、ニ、次、ケ、リ、一、般、ノ、漁、獲
高、ハ、八、十、四、百、五、十、五、ニ、至、リ、平、均、百、五、十、五、ニ、於、テ、同、位、ナ、リ、レ、カ
昨、年、ニ、比、シ、多、ク、好、漢、ナ、リ、ト、モ、價、格、亦、或、方、高、價、ナ
リ、レ、カ、如、シ、而、シ、其、漁、獲、物、ハ、生、魚、ノ、依、テ、ラ、朝、鮮、人、ニ、賣、
却、シ、或、ハ、我、塩、切、船、(後、章、ニ、載、キ、ス)、ニ、賣、却、ス、ル、ヲ
常、ト、シ、後、者、ニ、テ、ラ、ハ、間、ニ、其、任、込、ラ、受、テ、特、約、シ、テ、一、切、之、
專、賣、ス、ル、モ、ナ、レ、バ、多、ク、他、立、シ、テ、販、賣、上、他、一、切、時、
受、ク、ル、ヲ、ナ、シ、本、年、ノ、相、場、ハ、左、ノ、如、シ、魚、ノ、大、小、ノ、混、シ、一、尾

何、テ、又、ト、賣、却、ス、ル、表、ハ、我、時、價、ニ、改、算、ス、
朝、鮮、人、ノ、出、賃、船、及、漁、船、 初、八、八、八、八、 終、五、五、五、五、
我、塩、切、船、 初、五、五、五、五、 終、四、四、四、四、

(昨、年、ハ、一、尾、五、五、五、五、高、價、ナ、リ、)
餌、料、ニ、意、見、ヲ、使、用、ス、多、ク、本、邦、ヨ、リ、漁、業、ハ、モ、カ、或、ハ、
往、途、南、海、雁、島、ノ、附、近、ヲ、買、取、ル、カ、ル、モ、ニ、依、ル、此、地、ハ、
一、日、僅、ニ、三、三、十、日、間、ノ、漁、季、ナ、リ、ヨ、リ、之、カ、購、求、ニ、時、日、ヲ、空、費、
ス、ル、余、裕、ナ、キ、モ、草、魚、ノ、斃、死、ス、ル、漢、期、ノ、近、長、ス、カ、或、ハ、
在、中、購、買、ノ、時、日、ナ、リ、レ、等、場、合、ニ、テ、ラ、ハ、沿、岸、漁、村、
ニ、至、リ、朝、鮮、人、ヨ、リ、之、ヲ、購、求、セ、ザ、ル、ヲ、得、ヌ、(一、尾、韓、金、三、五、五、
我、五、五、五、五、)而、シ、現、時、其、供、給、地、ハ、そ、レ、ら、ハ、(砂、浦、カ)、ト、称、ス、ル、
漁、場、ヨ、リ、十、数、里、ノ、遠、地、ニ、テ、ラ、之、カ、為、ノ、時、ト、シ、テ、ハ、漢、期、ヲ、失、
ス、ル、悲、ア、リ、テ、本、業、者、ノ、最、モ、不、便、ヲ、感、ス、ル、所、ニ、シ、テ、餌、料、後

97

40

田一ヨリ

么保力

給ノ方法ハ大ニ研究スルニ要件ナリト信ス而シテ近時發明
セラレタ鳥賊油漬、如キ保存ノ容易ニシテ價格ノ廉
ナルモノヲ採リテ之ヲ試用シテ好成績ヲ得ンカ其漢利ヲ
増進スルニ益シ警ルヘキモノアラシ

利益ノ配当ハ統漢復高ノ内ヨリ餌料食費雜費ヲ
引去リタルモノヲ五方ニ水夫三名各一方船頭一名ニ方ヲ
取ルニシテ船頭ハ自己ノ漢船漢員ヲ生計ニ培ルカ故ナリ

本年一艘ノ所得平均百五拾圓トシテ水夫一名ノ配当
金ハ約三拾圓(一漢期間)ノ割トナルニ之ヲ詳記ス

一金百五拾圓也

統水場高

三月八日ニ於テ

船頭ニ方

在外ハ公館

五拾五圓八拾四角

水夫三名各一方(各拾五圓五角)

三拾三圓六角五分

船料代

五圓

雜費

(三) 鱸漢業

漢期四月下旬ヨリ五月中旬ニ至ル其盛期ハ陰曆八十
八夜ヨリ九十九夜ノ間ニシテ産卵ノ為メ沿岸淺瀬ニ群集
スルモノヲ漢獲ス漢員ハ底流網ニシテ一網ニ三十把(一把
長ハ八寸)ヨリ四十把ヲ適合ス即チ全長三百四十寸ヨリ
三百六十寸ニ至ル網ニテハ五寸之ニ至ル浮子係リ附
ス一艘ノ乗組四名ニテ薄暮ヨリ出漢ニ潮ノ下ニ至リ

九十一

九十七

ん

下網したる上綱ス即チ流潮に乗じ六時間放流ス
 ニシテ干満ノ際各一回都右一夜ニ面々使用スルモノトス
 本法ハ魚類ノ潮流に乗じ未だスルモノヲ刺捕スルモノニヨ
 リ大朝時ニシテ暗夜ノ場合ト適當トス
 濱場ハ煙島附近ヨリ湯音群島嶺島ノ辺ニ海深
 五尋ヨリ九尋ニシテ泥底ナル所ヨリ浅瀬及奥帳(軒
 人ノ定設漁具)アリテ破網ノ恐アリ出漁者ハ香川県最
 多ク岡山廣島山口愛媛島根ノ諸縣之ニ次ク本年ハ
 昨年非常ノ豊漁ナリシ爲メ其船數著シク増加シテ
 五百艘以上ニ達シ内ニ其多數ニシテ到底充方ノ漁獲
 ナラザル豫想シ中途全羅道ハ群島附近ニ於テ漁業ニ遂
 本海方面(未航セザルモノ)數十艘アリ果然今日其足見
 明達ヲ賞スニキ不キノ現象ヲ呈シ到處不漁ノ歎
 聲ヲ聞カレハイノ本漁ノ前途甚々憂慮スルモノアリ
 而シテ其原因ニ付テハ種々ノ説ヲナシ漢期ヲ失セシカ莫道
 亦変更セシモノカ群衆ノ掃ナリシカニ歸シ出漁ノ希望ヲ
 放棄スルモノアリ或ハ其豊凶ハ自然的周年ニ交互スルモノ
 トナシ来年豊漁ヲ豫測スルハ徒アリ其不理ニシテ社會
 諒解ハ勿論ナルヘシト余彼等ハ尙本漁上ノ前途充方ノ
 希望ヲ有スル進取説者トシテ讀賣セザルヲ得ナリ
 柳ノ漢業不振ノ原因天然ト人爲トナリ氣候潮
 流溫度等ノ変化トシテ其不漁ヲ来テ天然の屬シ
 人力ノ如何トシテ能ハザル所ナシ海底ニ事、漁具往來ノ頻
 繁等ヨリ莫後ノ来往ヲ妨ケ爲メ不漁ヲ来スカ如キハ
 人爲的ニ起原スルモノニシテ之ヲ救済スル方法ヲ講スル必
 要アリ今昨今兩年ニ於ケル氣候、潮流溫度等ヲ

在外六館

九十八

對照ス中ハ特ニ其相違ノ点アルヲ見ス而モ即新成熟ノ度ニ達スルナキヲ見ル其漢期ヲ失ハルノ説ハ未ダ信憑スル價値ナキモノトス要スニ其不漢ノ原因ハ畢竟網數ノ夥多ニ失ヒ其回遊ヲ遮断シタルモノト云フヲ得可シ今仮ニ網一張ノ全長ヲ四百身トシ出漁船ヲ五百艘ト見積リ其総網數ヲ延長スル中ハ殆ト八十哩ニ達スルニ至ラバテナリ乃至二十哩ノ直徑アル本漢場ニ使用セシメ數理上四重乃至八重ノ網列ヲ攝成シ且毎夜二回ヲ使用スルニテ身倍數即一夜八回乃至十六回ハ海中ヲ掃尽スルノ割合ナルニ然ラバ到底漢族ノ沿岸ニ寄テスルノ遊漁遂ニ其道路ヲ遮断シテ其方向ヲ轉去シ其結果却テ他方面ニ好漢ノ余福ヲ喫フルニ至ル(全羅道ハ群島附近ニ在リ方漢獲アリ)本年一艘ノ漢獲高ハ千圓ヲ二百圓ニ至ル稀三百圓ニ達セシモノアリ平均日収千圓ト見ルヲ得今出漁船數ヲ百艘トシテ漢獲高ニ於テ六万二千圓トナリ漢數六十万余トス則昨年ニ比シ今季ニ於テ大差ナキモ一艘ニ較ビ其三方ニ過キス

漢獲不魚類切船ニ生賣ス其一尾ノ價格左ノ如シ

香川縣塩切船特約相場

(七十圓ヲ八十圓ノ位ニシテラセシモノ)

初漢ヲ陰曆三月十八日迄	十六或十五ノ
全十九日	十三或十二ノ
全廿日——廿九日	十二或十一ノ
其以後	十或九ノ
左 (廿日内外ノ位ニシテラセルモノ)	十八或
初漢ヲ十八夜迄	

江川



九十九

其他	十二或五厘
愛媛縣左	
初漢ノ漢曆三月廿五日迄	十二或五厘
廿三日一廿六日	十一或五厘
廿七日一廿九日	十一或五厘
其以後	十或五厘
其他若縣塩切船ニ大抵此標準ニテ買収スルモノニシテ 付込キ方ニ一銭ヲ加フ又韓人ニ賣却スル片ニ七十文内 外(我時價ナキニ)ナリ	
出漢ノ組織日給トシ漢業日数ニ本海ニ於テ二十日間全 中ニ於テ十日往復航路及出漢準備ニ四十日トシ合計 七十日内外ノ時日ヲ要ス一腹ノ経費大略尤ノ如シ	
一 金五拾圓也	網目漢船ノ損失費
一 金五拾圓也	在 外 公 館
一 金六拾圓也	船頭等ノ給料(百四十員)
一 金三拾圓也	水夫三名同(一日一名三十員)
一 金三拾圓也	食費四名七十員(一名十七員)
一 金三拾圓也	出漢準備費金和其他雜費
合計金百九拾四員ナリ	

則一腹ノ経費約三百圓ヲ要ス然ルニ本年ノ漢額高前
記ノ如ク殆ト其半額ニ過キス候リ一組十艘ヲ組織シテ
出漢セルモノトスレバ目前ノ四年ノ損失ヲ見之塩切船
乗組水夫ノ給料食費等一切ノ経費ヲ加算スル中
千三百圓ニ及フベシ之ニ依テ之ヲ見レバ將來ノ出漢者ハ其
漢業ノ何種ナルハ向テ最初其組織ノ如何ヲ考究シ
漢夫ヲシテ自動的ノ勞力ヲナシテノ損益其莫大ニ至ラ
サル様ノ方法ヲ以テ出漢ス(キナリ)

田中

93 42

(四) 塩切船組織業務初用

塩切船又親船ト其若ノ系スルコト特約セシ漢船ヲ統率
シテ漢獲物ノ處理賣買等ヲ資本ノ任シテ漢夫日
用品ノ使結ラヌモノヲ云フハ船停普通漢船ヨリ大ニシテ
カチ石積ヲ二百石積位ノ帆帆ニシテ多ク漢業
受仕ラ有ルニ付往々受許ノ難ナク知リテ未リ且午
續ヲナサルモノアリ談船ハ資産家(漢夫ニ比シ)ノ
所有スルモノニシテ漢期ニ近テ各地漢村ニ至リテ漢
夫ト協約シ資金金前貸ヲナシ五六艘ヨリ十二艘ヲ
引存シ用塩及日用品ヲ積載シテ漢場ヨリ往來シ
漢獲物ノ規定ノ價格ヲ以テ一切之ヲ買収シ塩藏シ
テ本邦ニ輸送シ馬関頼戸内地ヲ傳多ク各地ニ販
賣スルヲ業トス豊漢ニ際シテ一漢期間ニ三四往復

ヲナスモノナレ本年ノ如キ薄漢ノ時ナリテ到底滿載ヲ
得ルノ難ク三組合併シ親船ノ數ヲ減シテ可及的滿
載急送ノ方法ヲ講シ居レリ故ニ本年ノ如キ不漢ニ接シ
テ重取モ其影況ヲ蒙ルルハ此船ニシテ轄網ノ如キ漢不
漢ニ拘ラス漢夫一人ノ利益ニ關係スルヲナキナリ
上記ノ如ク本船ノ業業ハ薄資ハ漢業者ヲシテ遠ク海
外ニ出漢セシメ日用品ノ使結シ漢獲物ノ處理ノ販路
擴張ヲ圖リ彼我相益シテ出稼漢業ト必要欠可ラ
サルノ概観トナレモノニシテ漢業ノ獎勵保護取締便宜ノ
点ニ於テ韓海漢業發達ニ付テ最モ効力アルモノナルベシ
此種ノ船數今年五十艘ニ達セリ

漢場ニ於テ每朝漢船ノ歸來スル塩藏場ハ船首
甲板ニ設置セリ切截洗滌加塩細置ノ方業順

此ノ二字交アテル
新

一〇一

序整備し敏治製造に従事し執練を切實に
一日ニシテ十尾ノ轄ヲ調理スト云フ今其方法ヲ視ニ
他ニ識難クハキノ莫ナシト云フ加塩ノ過度ナルハ改善ノ
一トナス(し)而シテ保存ニ永クシテ期スルノ目的トスレバ可
ナルカ如シト云フ實際重量ノ多キヲ知ラズ高策ナルヲ
以テ此等ノ却テ其品位ヲ下落スルノ損失如何ノ
考究ニ速ニ改良ニ着手スルモノハ(し)内地ノ相場
平均老ノ如シ

塩 十貫目 二月六ナク
塩 四日

我輸入税ハ塩魚十貫目ニ對シ八ナクナルヲ以テ
塩魚一尾ニ付洋銀五厘余塩轄ハ三錢五厘計
トナル本年ハ其主要ナル轄ノ不浸ヲ(し)為シ塩切取
損失ニ帰セシモノ多シト云フ

在外六館

五 朝鮮人漁業 支那人漁業

石首魚漁業 七山離石首魚饒産ノ好漁場トシテ
頗ル著名ナル所ニシテ韓人ノ漁期ハ毎年舊三月ヨリ四
月ニ至ル以期ニ至ルハ朝鮮各道ノ漁船茲ニ輻湊シテ非
常ノ壯觀ヲ呈ス石首魚ハ韓人ノ需用嗜好明ニ魚
ト伯仲シ其産額モ亦頗ル大ニシテ尙(又)重要水産物
ノ一トシテ候貝ノ構造ニ未ク詳知スルヲ得スト云フ敷網(様)
モノニシテ潮流ニ向テ釣ラ投シ漁船ヨリ網ヲ敷キ居
之ヲ繰上ケテ魚類ヲ捕獲スルモノナリ一年ノ漁獲高
ニ十萬圓ニ達スト云フ塩藏シテ後蔭所ニ懸吊シ半
乾ニシテ販賣ス我國(輸出スルモノナシ)

る
二〇

我々皆縣漢業者ニテ二三年前より方言ハツシヤ
網ヲ調製シ之ヲ本漢場ニ試用セシメテ昨年初
漢ニ属シ成績不良ナリカ本年モ亦健續シテ本漢
従事シ居リ其次第未タ分明ナラシハ一体本年ハ
韓人ノ石首漢モ不漢ナリシラ見レハ恐ク充方ノ漢獲
イカリシナランカ

蝦漢業 蝦ノ到處棲息シ若月島附近最ニ饒
産スルカ如シ種類ハ志付志ビニテ時ニ車蝦ヲ混漢
ス漢期ハ舊四月ヨリ六月ニ至ル漢貝九州有明海
用テ蝦網ニ類似シ一艘ノ漢船ヨリ双方ニ支柱ヲ設テ
之ニ長形ナル囊網ヲ上端ヨリ潮流ニ向テ網ヲ開
展シ錙ヲ投シテ其群来スルヲ捕テ其漢獲高ヲ
詳ニス蝦ハ塩藏シ自國人ノ食用ニ使ス轉蝦ハ生

乾シテ保存ス

此他韓人ノ漢業中蝦漢如キハ最初我漢法ヲ傳
習シタルモノナレバ今日ハ頗ル進歩シテ我漢業者ニカウサ
ルニ至リト云フ

真帳ハ沿岸列島ニ設置セラシ雜魚ヲ捕獲ス其内
純然先我波瀾ニ同レキモノアリ智島附近ニ多シ

帶力漢 支那人ノ漢業ニテ漢場ハ曾島湯音等
島附近トス底正繩ヲ用テ餌料ニ使餌カカシ本年
三十艘許出漢ヤリ其漢獲高未詳イリハ皆塩藏
シテ本國ニ輸送ス

大) 本海漢業ノ將來
本海ニ於ケル漢業ノ情況ハ略前述ノ如クニテ邦人現時

島田



るる

春川

使用したる船、諸漁業、今後益、其出漁船数
 が増加スヘキモ、其利益比較的增加セザルハ、一艘より見ハ
 其到底出漁、償価ナキニ至ルハ、殊ニ流網ノ如キ、今
 日ニ於テ改ニ網端、網椽重復シテ充テ、漁業ヲテ、能
 カル如キ有様、ナリ、今後出漁セシト欲スルモ、先ツ其
 組織ヲ利益配當トシ、漁夫ヲシテ自傷セシムル如キ才
 法ヲ取り、次ニ、單一漁業ニ従事セシムル各種ノ漁具
 ヲ用意シテ、轉々、漁期ニ従テ、漁業ニ周年向絶ナカ
 ラシムル、本年ニテ、テモ、延縄流網ヲ台ニ持来リ、モ、ハ
 最初流網ノ不漁ナリシモ、直ニ延縄ニ移リ、シ、カ、シ、ノ
 損失ヲモ、家ヲサリ、モ、ナリ、且、本海ノ如キ、狭、隘、ナル、漁、場、
 ナリ、テ、同、種、ノ、漁、業、ニ、到、底、本、年、ノ、船、数、以、上、ナ、シ、能、ハ、
 カ、ル、所、ニ、テ、將、来、益、其、國、産、ヲ、欲、ス、ル、現、行、以、外、ノ、新、
 規、漁、業、ニ、着、手、セ、ザ、ル、ハ、カ、ラ、ス、而、シ、テ、將、来、自、理、ヲ、漁、業、ノ、如、
 何、ノ、種、類、ノ、モ、ノ、ナル、ヤ、今、日、ヨリ、調、査、ス、ル、キ、事、項、ニ、シ、テ、
 茲、ニ、明、言、ス、ル、得、ヌ、ト、モ、尚、充、テ、方、ノ、余、地、ヲ、ハ、シ、信、ス、
 目下、漁業者、最モ不便ヲ感スルモノ、飲料水ノ飲之ニ
 アリ、後、船ノ根、據、地、先、竹、島、ニ、テ、井、泉、ノ、出、常、ニ、人、影、ヲ
 絶、テ、其、消、滴、ル、モ、ラ、汲、集、ス、ル、ヲ、汲、水、時、間、五、時、間、
 シ、費、ス、テ、ア、リ、ト、云、フ、此、等、ノ、漁、夫、同、運、合、シ、テ、一、組、ニ、一、艘、
 位、ノ、後、水、船、ヲ、設、ケ、治、山、戸、ヨリ、飲、料、水、ヲ、運、搬、ス、ル、如、キ、方、法、ヲ
 講、シ、其、不、便、ヲ、補、フ、非、ニ、シ、ハ、作、業、上、亦、常、ノ、損、失、ヲ、来、
 ス、キ、モ、ナ、ラ、ン

備考

各要地間ノ里程

水浦—智島 二十七海里

法聖浦—智島 十九海里

在外公館

44

57

81

五ノ尾内ノ漢獲下ノ粟一石千五百乃至十七
ノ多シキ人ノ多ク信造シテ本邦ニ送テ
ル事ナリ本年水場宜ニ平均シテ五十月は
ト云フ

以上ノ莫ノ漢業ヲ比較スルニ本年ノ石首莫業
等ノ漢獲ハ先ノ下ナリ成積ナルコトヲ
ノ既ニ五法不ナリシ之ニ華南諸ノ漢期
右候既ニク免カナル効キリ方々得
又石首莫ハ七石五斗ノ穀一斗ニ
仕リテ莫業ハ七石五斗ノ穀一斗ニ
益ニ多クナリ得サリシ計ニ
セシ漢具ニテハ前年ノ比較シテ大
ナリト云フカ人ヲ開ハシテ
在外公館

ノ漢業ニ專ラシキ廉同リは日ニ漢船
僅ニ十五隻ニ過キナリカ本年ニ
本邦同法候ニシテ各船ノ出漢船
船ヲ使用セシ一事ナリ今漢船ノ長
其製造ニ多クノ事自ラ有テ大
計ニモ自ラ有テ今付ト云フ
之ヲ採掘スル得又收穫ニ
アリ之ニ及ビシ年盛ニ
造ニ多クノ事自ラ有テ今付ト云フ
廣ヨリ有シ計ナリ長キリ
流シ行ク事有テ今付ト云フ
困難ヲ生シ且中余
ノ恐レアリ彼秋計代
3



82

以白ナレハ時来ハ一層
江蘇鎮同使用ノ時カセ
下希也元時ナリ

在外公館

3-1785

0100